

AED 有効活用を RC、坂井中で講演会



生徒たちを前に講演する田中さん＝坂井市坂井中学校で

福井フェニックスロータリークラブは四日、「救える命、勇気を持って救命活動を」と銘打って、坂井市坂井中学校で自動体外式除細動器（AED）の有効活用をテーマにした講演会を開いた。

福井市の医師で同クラブ会員の田中義孝さんが、このプロジェクトを使って講演した。田中さんはAEDや心臓マッサージにより命が助かった国内外の事例を紹介した後、マッサージのやり方やAEDの使用法を説明。「大切なのは、倒れている人を救うために自分ができることを行うこと。目撃者から応急手当てを身につけておきましょう」と締めくくった。（松田士郎）

救命活動の意義などについて学ぶ生徒たち＝4日、坂井市坂井中



リークラブ（RC）が新世代を育成するための事業として企画した。

講師は同RC会員の医師、田中義孝さんが務めた。応急手当てによる回復事例や年間8万人近い人が心停止で突然死している現状を説明。AEDの使い方についてはパッド同士が触れ合わないなど注意点を挙げながら、「大切なのは自分ができることを行うこと」と締めくくった。

救命活動の意義
坂井中生に講演
福井フェニックスRC
勇気を持って救命活動を行えるようにと、坂井市坂井中で4日、自動体外式除細動器（AED）の活用に関する講演会が開かれた。2年生約120人がAEDの使い方や応急手当ての重要性を学んだ。
福井フェニックスロータ

講演会に先立ち、同RCの竹内順子会長ら7人が同校を訪れ、液晶プロジェクト1台を寄贈した。今回の講演の様子をDVD化し、県内各校に配布予定。
（東村淳悟）